



# ソマリア

## NEWS (2008年3月25日)

桜の便りが聞かれる頃となってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

イギリスのBBCニュースによれば、暫定政府を支援するエチオピア軍と反政府軍の度重なる衝突で、首都モガデシュから郊外に脱出する人があとを絶たず、ゴーストタウンと化している所もあるようです。そのため、子供たちにとって、世界で最悪の地となっているとのことです。

### ◇ 第五回チャリティコンサート



3月2日、東京日野市七生公会堂で、第五回チャリティコンサート「大地」を開催しました。60歳代を中心に多摩地区で活動する男声合唱団「エルデ」、指揮者・テノール歌手鹿内芳仁さん、ソプラノ歌手後藤文佳さんによる、オペラから日本民謡まで、幅広い歌が披露されました。今までにない会場との一体化に多くの方が感動していました。

また、元コンゴ民主共和国大使高倍宣義先生はご挨拶の中で、アフリカの子どもの現状、教育支援の意義等を語ってくださり、参加者の方々はその話に聞き入っていました。



### ◇ スグレさん、博士号取得

3月12日、酪農学園大学大学院の卒業式があり、スグレさんに博士号が授与されました。難民では初めての博士号取得で、その事が朝日新聞「ひと」欄でも紹介されました。担当教授からは、博士号取得には4年以上かかると言われていましたが、3年で取得しました。彼の研究は、家畜の人工授精ですが、それは、マイナス160度のガラス板に家畜の精子や卵子を瞬間冷凍するため、彼の指先は低温火傷だらけになっていました。研究室に泊まりこみ、国際学会への論文発表を重ねた並々ならない努力の結果であります。



**【編集後記】** スグレさんの卒業式に行ってきました。11日はミソレ交じりの寒い日でしたが、12日は彼の卒業を祝福するかのような雲ひとつない快晴でした。酪農学園大学はキリスト教精神によって設立され、卒業式は祈りと賛美歌と聖書拝読で行われました。北海道でスグレさんを支援してくださっている方々もクリスチャンでした。スグレさんは将来祖国のために役立ちたいと、3年間休むことなく「一日を一分のように過ごし」(本人のことば)研究を続けてきました。その彼の姿に指導教授も感心していました。

「ソマリアを支援する会」

TEL&FAX : 042-594-2990

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~somalia/>